

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第293号

令和5年10月5日

瀬戸市立幡山中学校



## 中秋の名月に平和を願う

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

9月29日(金)は、中秋の名月の日であり、今年は「満月」と重なりました。お天気にも恵まれ、明るく美しいお月様が、とても大きく見えました。きっと、月にいるウサギも喜んでいただろうでしょう。

幡山中では、この日、2学期の中間テスト最終日であり、テスト後の3時間目は避難訓練を行いました。この日は、不審者が学校に侵入してきたらどのように対応すればよいかという「緊急態勢訓練」です。2001年6月8日に、大阪教育大学附属池田小学校で、学校に刃物を持った男が乱入し、亡くなったり、重軽傷を負ったりした子どもたちや教職員が出ました。学校の安全神話が崩れ、全国に危機感や不安感が広がった事件でした。



学校にとって、子どもたちの命を守る、安全を確保することは最大の責務です。失われた命を無駄にしてはいけなく、あの悲劇を二度と繰り返してはいけなく、学校では自然災害のみならず、不審者対応についても危機管理が求められており、今回のような訓練を毎年実施しています。今回は瀬戸警察署の協力のもと、不審者役を警察官の方にお願ひし、侵入場所を限定せず、突然の侵入にどこまで我々が対応できるのかを試みました。

昇降口から侵入した不審者は、一見学校に用事があって来校した人と思わせるような言動で、教職員も相手を刺激しないよう丁寧な対応を心掛けます。しかし、なかなかこちらの誘導に応じず、校内を徘徊する素振りが見えたため、不審者と判断し、子どもたちの安全を確保しながら、教職員が団結し不審者の封じ込めを行いました。この対応の間、教室対応の教職員は、大きな声を出して、逐次状況を校内に伝達していきます。騒然とした状況にもかかわらず、子どもたちは教室を施錠し、静かに待機することができました。

訓練後、瀬戸警察署の方から全校生徒に振り返りをさせていただきました。お話の内容は以下の通りです。

- 不審者の侵入が分かった時点で、先生の指示に従い、各教室が施錠され、野次馬をしに来る姿が見られなかった。
- もし興味本位に騒ぎ立てると、標的にされるリスクが格段に上がり、みなさんを守ろうとしている先生方がけがを負う可能性も高くなる。
- 不審者の通報は、昨年度、瀬戸市内で200件以上となっている。もし見かけた場合には、すぐに人のいる場所に駆け込み、警察に通報してほしい。皆さんの情報が、皆さんを守る手がかり、足がかりとなる。

これからも、子どもたちが安心、安全に学校生活を送れるよう、教職員一同、最善を尽くしていきたいと思ひます。次回、中秋の名月が満月になるのは、7年後です。また、今回と同じように、美しいお月様をみなさんが笑顔で見合える、そんな平和な世の中であってほしいことを願ひばかりです。

## 2年生 野外活動

9月5日(火)～7日(木) 若狭湾青少年自然の家

今年度は2泊3日の内容で活動を行うことができました。雨や風の影響で一部予定を変更して活動を行う場面もありましたが、ほとんどの活動を予定通り行うことができました。生徒が考えた野外活動のテーマが「笑顔 ～常にカメラのシャッターチャンス～」でした。まさにその様子がわかる写真を載せさせていただきます。



## 後期生徒会役員選挙

9月22日(金)

学校の行事には生徒会役員が中心となって行う活動があります。体育祭や文化祭などの大きな行事や一年を通して行われる全校集会などです。その生徒会役員を決める後期生徒会役員選挙がありました。立会演説では、全校生徒の前に立って堂々と演説を行う姿に、頼もしさを感じました。

また、3年生は我々大人が行う選挙と同じような形式で投票を行いました。3年後には選挙権をもつこととなりますので、よい経験になったことでしょう。



## 不審者対応緊急態勢訓練

9月29日(金)

訓練という言葉は厳しい言葉に聞こえるかもしれませんが、学校での活動で訓練と名のつく活動には「命を守るため」という意味があると思います。今回はもしも不審者が学校に入って来た場合は、どのようにすると自分の命を守れるかを想定して、瀬戸警察の方に不審者役を演じていただいて活動を行いました。



『お知らせ』

11月7日(火)は学校公開日です。幡中の様子を知っていただける絶好の機会です。地域みなさまは、1～3限の間で、ご都合に合わせてお越しください。分散授業公開のため、下のいずれかの1限分の時間帯をご参観いただけると幸いです。

【1限は 8:45～9:30 2限は 9:40～10:25 3限は 10:35～11:20】